

帰り道

梅村聖太

冷たい雨が窓を叩き

青く霞んだ街は遠くへ消える

濡れた舗道に足跡ひとつ

笛の音響き、風は舞う

静かな部屋に時計の針

仰いだ空に 月が光る

滲んだ灯りに影が揺れ

揺蕩う想いは胸の裡

夜の彼方で雨は歌い

蒼き夢は静かに消えて